

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2005-181284 (P2005-181284A)

【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-026

【出願番号】特願 2004-175475 (P2004-175475)

【国際特許分類】

G 0 1 R 1/06 (2006.01)

G 0 1 R 1/073 (2006.01)

H 0 1 L 21/66 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 1/06 D

G 0 1 R 1/073 E

H 0 1 L 21/66 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

プローブカードを保持部で保持するカードホルダと、このカードホルダを介して上記プローブカードをプローブ装置に取り付けるための固定部と、を備え、上記保持部は上記プローブカードの複数のプローブが臨む開口部を有するプローブカードの固定機構において、上記開口部の開口端から外周端に向けて延びる切り込み部を上記保持部の周方向に所定間隔を隔てて複数設けたことを特徴とするプローブカードの固定機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明の請求項 3 に記載のプローブカードの固定機構は、プローブカードを保持部で保持するカードホルダと、このカードホルダを介して上記プローブカードをプローブ装置に取り付けるための固定部と、を備え、上記保持部は上記プローブカードの複数のプローブが臨む開口部を有するプローブカードの固定機構において、上記開口部の開口端から外周端に向けて延びる切り込み部を上記保持部の周方向に所定間隔を隔てて複数設けたことを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本実施形態のプローブカードの固定機構 10 は、例えば図 1 に示すように、円形状のプローブカード 11 を上面から支持する支持体 12 と、支持体 12 を保持するリング状カー

ドホルダ 1 3 と、カードホルダ 1 3 の外周縁部をクランプし且つヘッドプレート 1 4 の開口部に固定されたクランプ機構 1 5 と、を備え、従来と同様にプローバ室（図示せず）に配置されている。プローバ室内にはメインチャック 1 6 が配置され、メインチャック 1 6 上に載置したウエハ W を水平方向（X、Y 方向）及び上下方向（Z 方向）に搬送する。この際、メインチャック 1 6 は、極力ヘッドプレート 1 4 の真下に達しない範囲で移動し、メインチャック 1 6 からの放熱によってヘッドプレート 1 4 を極力加熱しないようにしてある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

支持体 1 2 は、例えば図 1 に示すようにプローブカード 1 1 の中心を通り回路基板 1 1 B の直径と実質的に同一径の円盤形状またはハンドル形状（図 2 参照）に形成されている。つまり、支持体 1 2 は、図 2 に示すように、回路基板 1 1 B の外径と実質的に同一径に形成されたリング部 1 2 A と、その中心に形成されたハブ部 1 2 B と、これら両者を連結する複数のスポーク部 1 2 C とからなっている。そして、プローブカード 1 1 及び支持体 1 2 は、同図に示すように、複数のプローブ 1 1 A の周囲に対称に配置されたネジ等からなる複数の締結部材 1 7 によってカードホルダ 1 3 に対して一体的に締結、固定され、これら両者 1 1、1 2 の外周縁部はカードホルダ 1 3 に対して固定されずに自由状態になっている。尚、締結部材 1 7 は、例えばハブ部 1 2 B の外周縁部に配置しても良く、また、各スポーク部 1 2 C の内端部に配置しても良い。